

NTT東西提出資料を基に事務局において作成

<試算の前提>

■ 接続事業者向け光配線区画トライアル対象ビルにおける区画統合の状況

トライアル対象ビル	(A) 光配線区画数			(B) 統合後の光配線区画数	(C) $\left(\frac{\text{区画数変動率}}{\text{光配線区画数} \cdot B} \right)$
	統合可能区画数	統合不可区画数			
① ビル	1,041	676	365	703	67.5%
② ビル	1,901	1,220	681	1,291	67.9%
③ ビル	167	112	55	111	66.5%

※トライアル公表時（平成24年度）の数値

赤字部分は委員限り

■ 試算に適用した接続料

(単位：円/月)

項目	主端末回線接続料*1	分岐端末回線接続料	屋内配線利用*1	回線管理運営費*1
(D) 既存の光配線区画利用時	2,808	271*1	185	61
(E) 接続事業者向け光配線区画利用時	2,808	478*2	185	61

システム開発費
14億円/年

* 1 : 平成26年度適用接続料

* 2 : 平成26年度適用接続料をベースに算出（分岐端末回線の敷設距離が長くなるが、現状と同様の保守効率で対応可能な前提で算定しており、長くなることで故障対応時間が長延化する等の保守効率の悪化によるコスト増は織り込んでいない。）

接続事業者向け光配線区画を新設した場合の接続料負担額の試算

委員限り

■ 接続事業者向け光配線区画を利用した場合の接続料負担額の試算結果

【KDDI】

トライアル 対象ビル	既存の光配線区画			接続事業者向け光配線区画			(G-F) 接続料負担額の差 [増減率]
	主端末回線 (回線) * 1	分岐端末回線 (回線) * 1	(F) 接続料負担額 (円/年額) * 2	主端末回線 (回線) * 3	分岐端末回線 (回線) * 1	(G) 接続料負担額 (円/年額) * 4	
① ビル (収容数:)							[%]
② ビル	(未展開ビル)						—
③ ビル (収容数:)							[%]

赤字部分は委員限り

【So-net】

トライアル 対象ビル	既存の光配線区画			接続事業者向け光配線区画			(G-F) 接続料負担額の差 [増減率]
	主端末回線 (回線) * 1	分岐端末回線 (回線) * 1	(F) 接続料負担額 (円/年額) * 2	主端末回線 (回線) * 3	分岐端末回線 (回線) * 1	(G) 接続料負担額 (円/年額) * 4	
① ビル (収容数:)							[%]
② ビル (収容数:)							[%]
③ ビル	(未展開ビル)						—

赤字部分は委員限り

- * 1 : 主端末回線数、分岐端末回線数は平成26年度末の値
- * 2 : 主端末回線数、分岐端末回線数に (D) の接続料を乗じた年額料金
- * 3 : 主端末回線数は既存の光配線区画主端末回線数に (C) 値を乗じた値
- * 4 : 主端末回線数、分岐端末回線数に (E) の接続料を乗じた年額料金